

▼：本紙では早くから「新年文芸」を募集しましたが、残念ながら期待したほどの作品が集まりませんでした。かえって、すでに三池炭鉱を退職した先輩の作品がきわだっています。

書き手は、決してこれだけではないと思います。今回のさびしさを、情熱をかきたてて今後の創作活動で埋めていきたいものです。この面でもがんばりましょう。

高棕竈生

ホッパピケ小屋で
たべた
おむすび
全国の若い娘達が
にぎってくれた

いまも
おれのこころのなかで
生きとる。

1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 26

木村 守

まごころがすべてと思ふ吾れなるに智、仁、徳の備へ
貧を富に生ずる思い違ひとも怒り心を沸騰させつ
予期したることが現実と即なるに戦後世代の気骨貧困
定期便見るがに朝を鳥来たり益裁の紅き実の数減らす
成熟の期の菊は折れ新らしいのちうごめく土の面は

高棕竜生

戦さなき世をねがいつつ読み初めに「昭和万葉集」繰り返し読む
疵(きず) つきし抗帽も我も古りにけり餅を飾りて年を祝へり

十一分会(三川)

平田光男

二十年
前
ホツパピテ小屋で
たべた
おむすび
全国の若い娘達が
にぎってくれた
くすれないおむすび
ゴマと塩で固めた

わしづかみしてもくずれない
 歯ごたえのある
 おむすび

二十分会(三川)

町
佳
郎

機織(はなは)りて生活(たつき) 支え來たる十七年病む夫(つま)
とわれにまためぐり來し初春(はる)
CO家族
物価(もの)のみなが上り暮しにくき日々を嘆かひつゝ四十一歳の年逝
かんとす
おのが身に着くるもの常日頭がまんせし妻に靴のひとつを買えと劬
(すす)めぬ
果すべき希望(のぞみ)いくつを思ひつゝはの明る背戸に汲む若清水
丈伸(は)びし娘(むすめ)ら並ばせて正月の妻の撮る写真に加わるわれも

高 惊 竜 生

集まつてきた
今日は
昭和三十五年十二月一日の
三池闘争終結、就労の日だ
OB達も
いつの間にか
そのおむすびをわしつかみにして
英雄なき闘いの
英雄的な闘いを語る
分金長が
闘争本部のしみた節目に
手をやりながら
片方の手に
おむすびをわしつかみにして
かみしめている

山下みるる

二十四分會（本所）

山下みのる

雪山に紅い狹霧の御來光
誇らしい氣持選んだ人を見せ
紅白の幕もうれしく師を囲み
羨望の中に新人しこかれる

佐藤勉

人生意氣に感ずる異稱になり
日本の平和に出あう三が日
一泊ですぐ発つ庭にすぎな松
小倉百人鬼髭長き頃の歌
賀状くるご夫婦ともに絵を習ひ
はずされてからも働く腕時計
人生をみつめて墨をする心
豆球にもう寝なさうと見守られ
お互いの失言洒落にしてしまひ

元旦に「スクラム」固く団結を
初日の出祈る心は「ご安全」
新春の無事故を祈る初日の出
春闘に意欲を沸かすこの初日

荒尾市長選への決意



門田 作候補

三池労組はもちろん、多数市民田作さんは、その決意を「市民のや民主団体の強い推薦を受け、き英知と力を結集し、民主市政つくる荒尾市長選挙に立候補する門りの先頭に立つ」と語っている。

だ
た
立つ

田 作

つくる

門田候補は長く技術吏員として
荒尾市役所に勤務、幅広く活動。
同時に同市職の委員長、自治労熊本
本県本部執行委員、熊本県総評副
議長、荒尾地評会長などを歴任、
重責を果たしてきた。

門田候補は大正十五年十一月四
日生れて、五十四歳。

妻の浩子さんは四十五歳で、給
食センターの栄養士として働きな
がら、夫の活動をささえてきた。

子どもは二人。長男を大作さん
といい、二十五歳。自治労共済の
東京で働いている。すでに新妻を
得、ともどもがんばっている。

／長女は淳子さん。二十二歳。今
のところ大学に在学中。
ほかに母親の勝恵さんがある。

八十一歳の高齢を恵まれている。
住まいは「荒尾市栴、六九二」
で、趣味は読書に園芸、魚釣りな
ど。

／もともと地方自治体の、行財政は
特定の大資本や団体に本配入さ
れたり、奉仕したりするものでな
く、住民自らによる自治、地方の
意志でこそ押しすすめられるべき
もの。その点を思えば、門田候補
こそ随一の適任者である。

“80年”代をめざして

三池炭鉱退職者の会 立 山 久

老人と医療問題

機械設備の寿命が強くて十年だ
というのに比べ、人の一生は七十
年から八十年と長い。そのなかに
医療問題の本質がある。

医学上では、人間は二十五、六歳からすでに老化期にはいるといわれるが、なるほどオリンピックの花形選手の年代が十代であることから、たしかだと思ふ。

はじめに

去る十一月二十八・二十九の二日間、壺野温泉「神泉閣」に、約三百人の全九州の高齢者運動の活動家が集い、研修会が行われた。全日程を通じて研修会の特徴は、高齢者の組織結成から五年目を迎え、各組織の中によりやく自主・自立の運動の芽が出てきたこと。さらに婦人活動家の進出もめざましく、宮崎県の会長「苗ヶ久保さんをはじめ、佐賀、鹿児島各県代表らの自信に満ちた、堂々たる報告ぶりにはいたく感動した。

労働の結果としてからだにガタがきて、業病で苦しむ人が多くなつてくる。ところが保険制度の方はこれとは逆に、退職すれば金のかかる国民保険にはいるしかない。高額な保険料を払うばかりか、三割の自己負担、差額ベッド料、付添看護婦などを必要とする病気になるばもうお手上げである。

このような高齢者の実態を無視する政府は、一部負担金の増額、保険料の引き上げ、老人医療の無料化（七十歳から）を一部有料化する、など改悪をたくらんでいる。

社会保障見直し改悪

年金こそ老後生活の支え—核家族化が進む今日、定年退職後の二十年、三十年の老後生活をたれが見るのか、は高齢化社会の最大の

結び

が、まさに強まる高齢化社会に逆行して、老人切り捨ての宣告でしかない。きびしく対処しなければならぬ。

課題である。

坑内労働者を除く絶対多数の厚生年金受給対象者の最大の悩みは五十五歳で定年退職した後、受給年齢の六十歳までの五年間をどう食いつなぐかで、深刻だ。総評が進める六十歳定年制確立闘争は、まさにその深刻さを物語る。にもかかわらず、政府は厚生年金受給開始の六十五歳への延長を打ち出

以上二間にわたった研修報告は、ほんの一部に過ぎず、これゆくと、高齢化社会にはいる八〇年代は、高齢者にとってさらにきびしい生活環境の時代となる。年頭に当たり、私達は八〇年代を生き抜くため、まず何を為すべきか、を考えてもらうことを願え、報告としたい。